2018/07

ACAD-DENKI 2019

環境移行マニュアル

本マニュアルでは、弊社製品の環境を移行する作業および運用例について説明しています。
下記内容に該当される場合、本マニュアルをご参照ください。

ACAD-DENKIをバージョンアップする
ACAD-DENKIを増設する
他社取引先間で環境を受け渡しする

（付録）
DENKI2000(旧製品)からACAD-DENKIにシステムアップする

※環境の移行・バージョンアップは、新機能を使用されるために必要な作業です。

Alfatech

ご注意
本マニュアルの内容を全部または一部を無断で記載することは禁止されています。
本マニュアルの内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
運用した結果についての影響につきましては責任を負いかねますのでご了承ください。

製品名は各社の登録商標です。

1章. はじめに 1
1.1. 環境移行を行う前に 2
1.1.1. 環境移行マニュアルについて 2
1.1.2. 環境移行を実行する前の確認 2
1.1.3. 他社取引先間で運用する前の確認 2
1.1.4. 運用事例の確認 2
1.2. 製品構成の比較 3
1.2.1. 旧バージョンの製品構成 3
1.2.2. Ver.8以降の製品構成 3
1.3. 移行が不要なデータの確認 4
1.3.1. シンボル 4
1.3.2. 図面 4
2章. 旧バージョンからの移行 5
2.1. 移行の流れと確認 6
2.1.1. 移行作業と確認順序 6
2.2. 環境のバージョンアップ操作 7
2.2.1. ACAD-DENKI 7
2.2.2. ACAD-DENKI2000 8
2.3. 電キャビ 11
2.3.1. 電キャビ旧バージョン環境との比較イメージ 11
2.3.2. 電キャビの設定・データの移行 11
2.3.3. 移行対象の確認とメッセージについて 12
2.3.4. ACAD-DENKI2000 使用環境からの移行 13
3章. 他社環境からの移行 15
3.1. 製品のバージョンについて 16
3.1.1. ACAD-DENKIのバージョンの確認 16
3.1.2. 電キャビのバージョンの確認 16
3.1.3. 環境のバージョンの確認 16
3.2. 環境の移行について 17
3.2.1. 環境例 17
3.2.2. 新規環境の移行手順 18
3.2.3. 電キャビ（ACAD-DENKI）環境の更新手順 18
3.2.4. 環境の更新手順 18
3.3. 新規環境移行-自社（移行元）の準備 19
3.3.1. 自社環境のエクスポート 19
3.3.2. シンボル庫の確認とコピー 20
3.4. 新規環境移行-外注先（移行先）の作業 22

3.4.1. 外注先でのインポート 22
3.4.2. シンボルのコピー 23
3.4.3. 環境を指定してACAD-DENKIを起動 24

3.5. 電キャビ（ACAD-DENKI）更新環境の移行 25

3.5.1. 移行元の環境エクスポート（電キャビ） 25
3.5.2. 移行元環境の部分エクスポート（ACAD-DENKI） 26
3.5.3. 移行先での更新インポート（ACAD-DENKI） 28
3.5.4. 移行先での更新インポート（電キャビ） 29

4章. 運用について 31

4.1. 異なるバージョン環境での運用 32

4.1.1. ACAD-DENKI運用例 32
4.1.2. 異なるバージョン環境の作成 32
4.1.3. 異なるバージョン環境混在時のACAD-DENKI起動方法 33
4.1.4. 最新バージョンで旧バージョンの環境を起動したときのご注意 33

4.2. 移行できない設定 34

4.2.1. ACAD-DENKI移行ツールで、移行できない設定 34

5章. 付録DENKI2000からの移行 35

5.1. 移行の流れ 36

5.1.1. 移行作業と確認順序 36

5.2. 移行準備 37

5.2.1. 設定ファイルの確認 37
5.2.2. 設定ファイルのコピー 37
5.2.3. DENKI2000環境のコピー 37

5.3. 移行操作 38

5.3.1. DENKI2000 -> ACAD-DENKI移行ツールの実行 38
5.3.2. 移行する環境 39

5.4. 処理エラーについて 40

5.4.1. 設定ファイル記述内容に関するエラー 40
5.4.2. 設定ファイルが見つからないエラー 40

5.5. 移行後の環境 41

5.5.1. 環境設定・シンボル・ドキュメント 41
5.5.2. 移行した環境名称 41

5.6. 電キャビ2000の移行 42

5.6.1. データベースの共有確認 42
5.6.2. 電キャビの設定・データ移行の実行 42

1章.はじめに

1.1.環境移行を行う前に

1.1.1.環境移行マニュアルについて

環境移行マニュアル(以下、本マニュアル)では、使用製品環境をACAD-DENKIの最新バージョンへ移行する方法について説明します。

また、旧製品を使用時の移行方法、他社取引先間での環境移行について説明します。

1.1.2.環境移行を実行する前の確認

ご使用の製品と目的を考慮いただいた上で、該当する章の内容をご参照ください。

- **ACAD-DENKI2000 を使用**

  ->ACAD-DENKI2000環境をACAD-DENKI最新バージョンに移行する
  「2.2環境のバージョンアップ操作」をご参照ください。

- **ACAD-DENKI(Ver.7.x、Ver.6.x)使用環境をACAD-DENKI最新バージョンに移行する方法**

  ACAD-DENKI(Ver.7.x、Ver.6.x)環境をACAD-DENKI最新バージョンに移行する
  ※Ver.8以上の環境、異なる製品からの移行についても本章をご参照ください。
  ->「 2.2.1.ACAD-DENKI」をご参照ください。

- **電キャビを使用(ACAD-DENKI2000、ACAD-DENKI 旧バージョン)**

  ->電キャビの環境を移行
  「2.3.電キャビ」をご参照ください。

1.1.3.他社取引先間で運用する前の確認

ACAD-DENKI環境を他社取引先間で運用する方法
->「3章.他社環境からの移行」をご参照ください。

1.1.4.運用事例の確認

バージョンアップ時に一時的に複数環境を運用する事例
ACAD-DENKI最新バージョンと旧バージョンの環境を運用
->「4章.運用について」をご参照ください。

1.2.製品構成の比較

製品構成について説明します。お手元にある製品の構成をご確認の上、変更点をご参考ください。

1.2.1.旧バージョンの製品構成

ACAD-DNEKI(2000)Ver.7.x/Ver.6.x 製品の構成

作図パック:ACAD-DENKI
標準パック:ACAD-DENKI/電キャビ
フルパック :ACAD-DENKI/電キャビ/ACAD-Parts/ACAD-Net

その他オプション

ACAD-ELOP/ACAD-IO/ACAD-WP

※製品・オプションの環境はACAD-DENKI環境の中に含まれます。

1.2.2.Ver.8 以降の製品構成

ACAD-DENKI(2000)Ver.8 から製品構成が変更されています。

作図パック:ACAD-DENKI(ACAD-Net 含む)
標準パック:ACAD-DENKI(ACAD-Net 含む)/電キャビ※
フルパック :ACAD-DENKI(ACAD-Net 含む)/電キャビ※/ACAD-Parts
※電キャビはACAD-DENKIとは別環境
データベースの形式がmdbからMSDEに変更

その他オプション

ACAD-ELOP/ACAD-IO/ACAD-WP

1.3.移行が不要なデータの確認

特別な移行手順が不要なデータについて説明します。

1.3.1.シンボル

シンボルフォルダ以下のシンボルの移行処理は必要ありません。

シンボルフォルダ以外の場所にシンボルがある場合は、［場所の確認と一括変更］で、“シンボル庫”パスに設定されているフォルダ以下に手動でコピーしてください。

Windows10 の場合

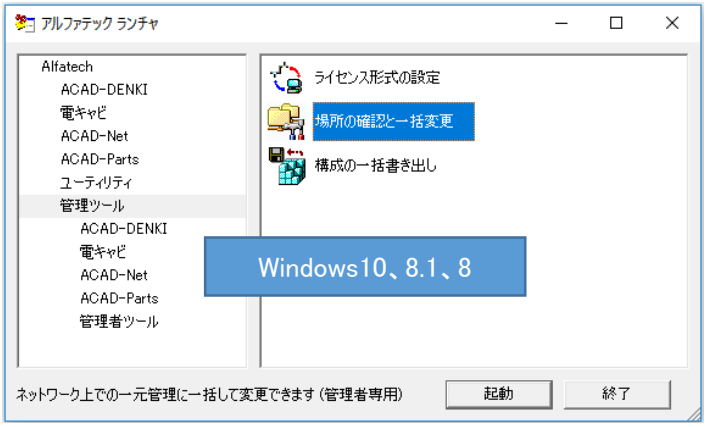
［スタート］-［プログラム］-［A］-［Alfatech］-［アルファテックランチャー］を選択し起動します。左ペインで「Alfatech」-「管理ツール」を選択し、右ペインで「場所の確認と一括変更」を選択し、［起動］ボタンをクリックします。

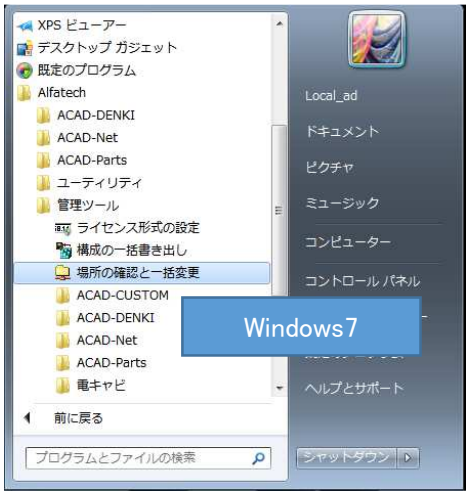
Windows8.1/8 の場合

［アプリ］-［A］-［Alfatech］-［アルファテックランチャー］を選択し起動します。左ペインで「Alfatech」-「管理ツール」を選択し、右ペインで「場所の確認と一括変更」を選択し、［起動］ボタンをクリックします。

Windows7 の場合

［スタート］-［すべてのプログラム］-［Alfatech］-［管理ツール］-［場所の確認と一括変更］を選択します。





その後、ACAD-DENKIで［シンボル］-［シンボルサーチリストの更新］を行ってください。

シンボルの配線カット部分の構成についてのご注意

Ver.8.1から、シンボル配線カット部分の構成を新形式に変更しました。
新形式で登録したシンボルは、Ver.7.x以前、およびDENKI2000では配線カットされません。
移行期間など、旧バージョンでの使用が考えられる場合、シンボル登録はクラシックモードで行ってください。
※シンボル登録ダイアログの［6.登録］にある「クラシックタイプのピンマークで作成」にチェックして登録を実行してください。
　旧形式で登録できます。

1.3.2.図面

図面庫フォルダ以下の図面の移行処理は必要ありません。

2章.旧バージョンからの移行

2.1.移行の流れと確認

旧バージョンのACAD-DENKI、電キャビの環境を新バージョンに移行する流れを説明します。

環境の移行はAdministratorもしくは管理者権限のあるユーザーで作業してください。

本章で説明する内容は、ACAD-DENKI製品を同じ製品間・同じ(最新)バージョンでご使用いただくことを前提としております。

運用確認期間などで、違うバージョンを使用される場合は、次章をご参考ください。

2.1.1.移行作業と確認順序

移行する製品の確認
移行する製品の構成を確認します。 ここで考えられるバージョンアップ製品の構成です。 ACAD-DENKI Ver.6.x、Ver.7.x -> ACAD-DENKI最新バージョン ACAD-DENKI2000 Ver.6.x、Ver.7.x -> ACAD-DENKI最新バージョン ACAD-DENKI2000 Ver8 -> ACAD-DENKI最新バージョン

↓

旧バージョン環境のバージョンアップ
「移行する製品の確認」で確認した製品の環境を、新しいバージョンの環境にバージョンアップします。手順は「環境のバージョンアップ操作」の章で説明しています。

↓

旧電キャビからの設定・データの移行
電キャビの環境を作成します。 電キャビを使用されていない場合、移行の必要はありません。 Ver.8 以降を使用されている場合、移行の必要はありません。 手順は「電キャビ」で説明しています。

2.2.環境のバージョンアップ操作

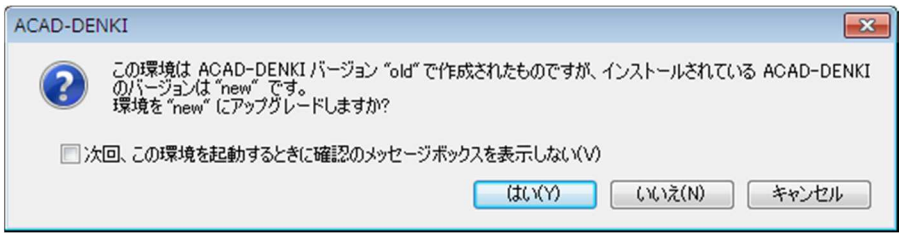
環境のバージョンアップ操作について説明します。

2.2.1.ACAD-DENKI

旧ACAD-DENKI環境を最新のバージョンにアップグレードする方法を説明します。
環境移行の作業はありません。
Ver.7.1 以前の環境では、電キャビの環境移行が必要です。(次章を参照)

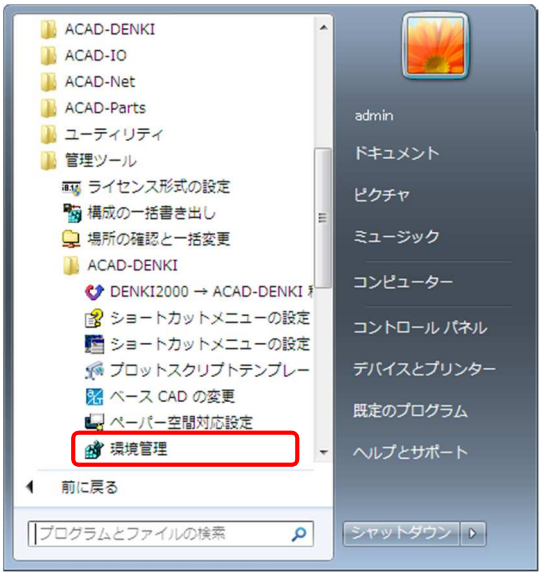
■バージョンアップ後の初回起動時確認ダイアログでの更新

製品をバージョンアップインストール後、ACAD-DENKIを起動すると下記の確認ダイアログが表示されます。



※"old"には旧バージョンが表示されます。"new"にはインストールされている製品のバージョンが表示されます。
通常は[はい(Y)]をクリックしてください。

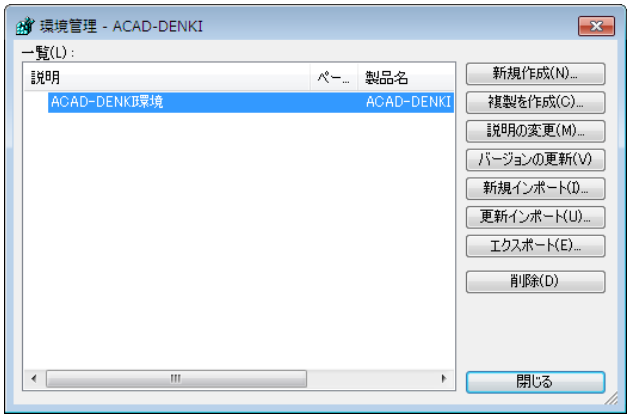
■環境管理からの更新



1.[スタート]-[すべてのプログラム]-[Alfatech]-[管理ツール]-[ACAD-DENKI]-[環境管理]を選択します。

環境管理ダイアログが表示されます。

Windows10、8.1、8 の場合は、アルファテックランチャー内にある「環境管理」から起動してください。



2.バージョンアップする環境を選択します。

[バージョンの更新(V)]をクリックします。

3.確認のダイアログが表示されます。

[はい(Y)]をクリックします。

（*NEW*には現在のインストールバージョンが表示されます。）

4.確認のダイアログが表示されます。

[OK]をクリックします。

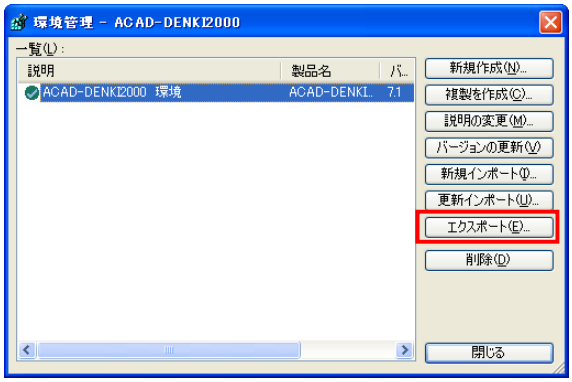
5.選択環境が最新環境に更新されたことが確認できます。環境管理ダイアログは[閉じる]をクリックして終了します。

2.2.2.ACAD-DENKI2000

ACAD-DENKI2000/ACAD-DENKIiからACAD-DENKIへ製品変更した場合の環境移行方法を説明します。
必ず、ACAD-DENKIへの移行前に行ってください。
本例はACAD-DENKI2000 環境をACAD-DENKIの最新バージョンに変更する方法です。

■ACAD-DENKI2000 環境のエクスポート

本操作は移行元のACAD-DENKI2000 がインストールされている端末で行います。

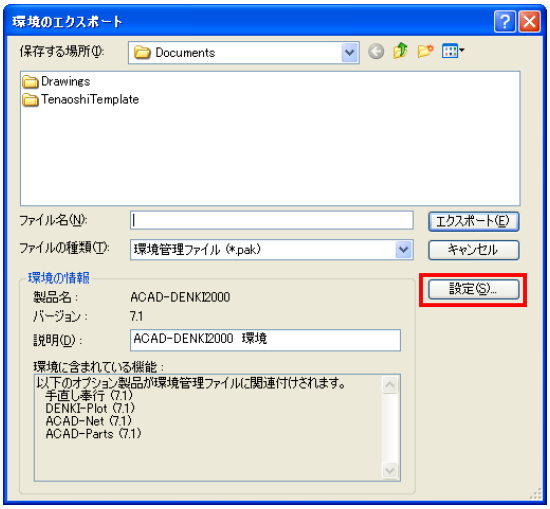


1.[スタート]-[すべてのプログラム]-[Alfatech]-[管理ツール]-[ACAD-DENKI2000]-[環境管理]を選択します。環境管理ダイアログが表示されます。

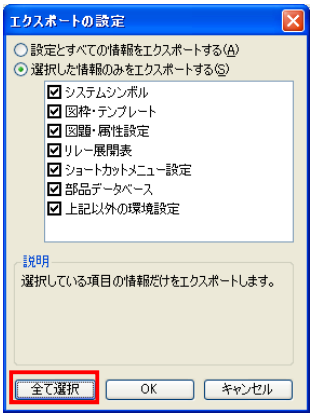
2.移行する環境を選択します。

[エクスポート(E)]をクリックします。

3.環境のエクスポートダイアログが表示されます。



[設定(S)...]をクリックします。

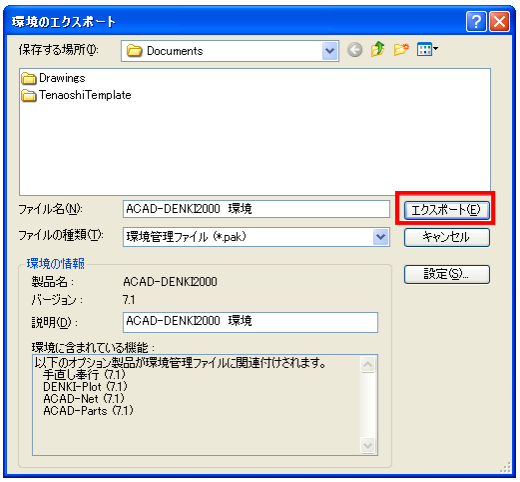


4.エクスポートの設定ダイアログが表示されます。

「選択した情報のみをエクスポートする」を指定します。

[全て選択]をクリックします。

[OK]をクリックします。



5.環境のエクスポートダイアログが表示されます。

保存する場所/ファイル名を指定します。

[エクスポート(E)]をクリックします。

6.メッセージが表示されます。

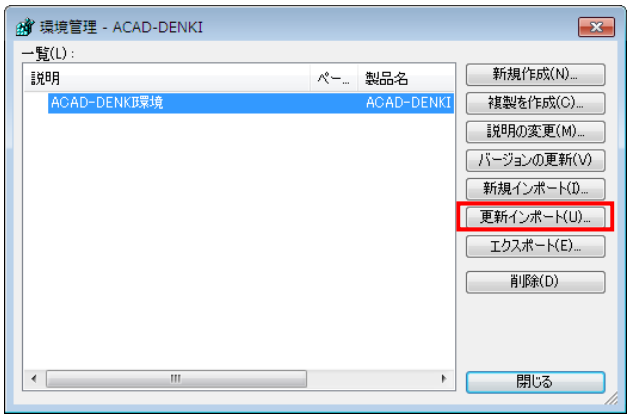
[OK]をクリックします。

7.[閉じる]をクリックします。

環境管理ダイアログが終了します。

■ACAD-DENKI環境へのインポート

本操作は、ACAD-DENKIインストール端末で行います。



1.[スタート]-[すべてのプログラム]-[Alfatech]-[管理ツール]-[ACAD-DENKI]-[環境管理]を選択します。

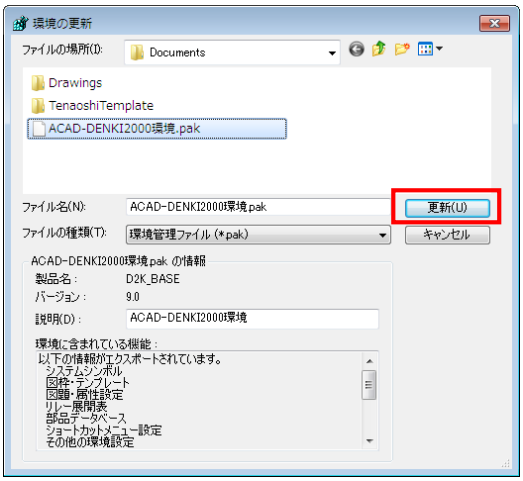
環境管理ダイアログが表示します。

Windows10、8.1、8 の場合は、アルファテックランチャー内にある「環境管理」から起動してください。

環境管理にACAD-DENKI環境が表示されない場合は、[新規作成(N)]をクリックして、移行先環境を新規作成してください。新規環境はACAD-DENKIインストールバージョンで作成されます。

2.移行する環境を選択します。

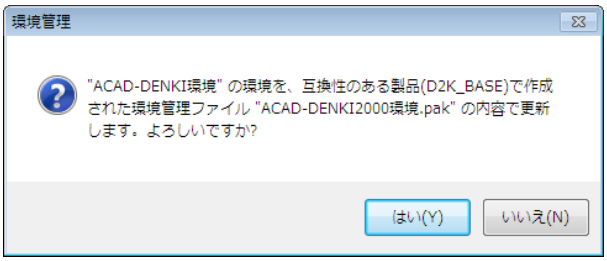
[更新インポート(U)]をクリックします。



3.環境の更新ダイアログが表示されます。

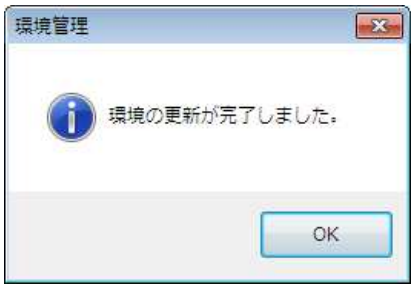
ACAD-DENKI2000 の環境ファイルを指定します。

[更新(U)]をクリックします。



4.メッセージが表示されます。

[はい(Y)]をクリックします。



5.メッセージが表示されます。

[OK]をクリックします。

6.[閉じる]をクリックします。

環境管理ダイアログが終了します。

ACAD-DENKI環境の更新作業は終了です。

2.3.電キャビ

旧バージョン（Ver.7.x以前）では電キャビの図面庫（ボリューム）・フォルダ・ファイルプロパティの構成は使用されているデータベース（デフォルト：dencabi.mdb）に登録されています。

Ver.8 よりデータベースが変更されていますので、旧バージョン（Ver.7.x以前）の電キャビをご使用の場合、本作業を行ってください。

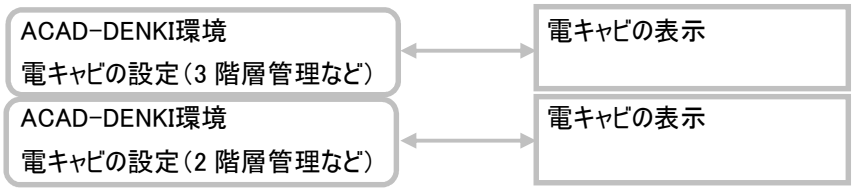
2.3.1.電キャビ旧バージョン環境との比較イメージ

ACAD-DENKI Ver.8 以降から、ACAD-DENKIと電キャビの環境は独立しています。

【イメージ】

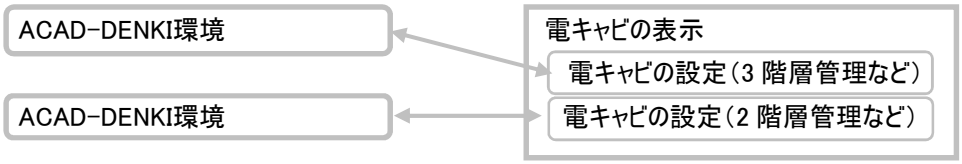
ACAD-DENKI Ver.7.1 以前

ACAD-DENKIの環境 ＝ 電キャビ



ACAD-DENKIVer.8 以降

電キャビの環境は 1 つ、表示階層の設定にACAD-DENKI環境をリンク



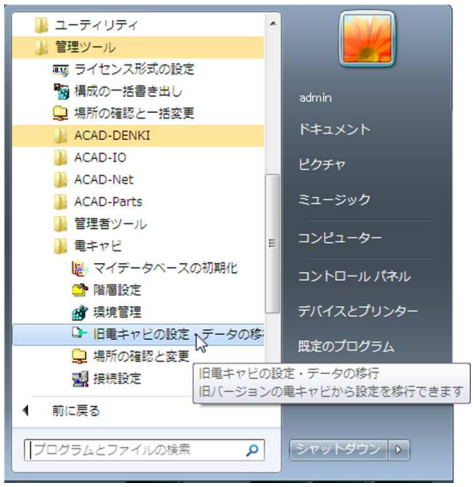
この独立した環境に移行するために「旧電キャビの設定・データの移行」を行います。

電キャビのデータベース構成も移行の対象となります。

ネットワーク環境、登録ボリューム・フォルダ・ファイルの数によっては時間がかかる場合があります。

2.3.2.電キャビの設定・データの移行

「旧電キャビの設定・データの移行」を行います。

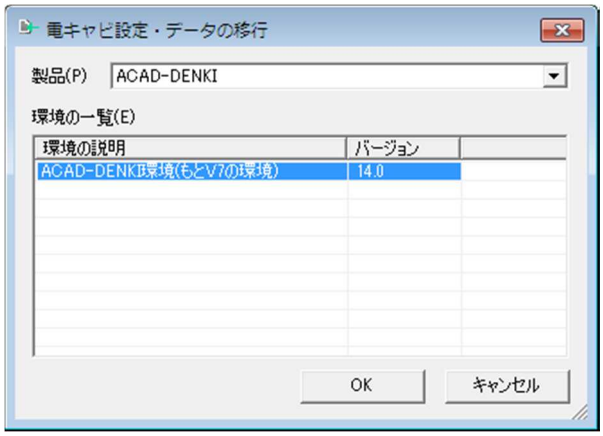


1.[スタート]-[すべてのプログラム]-[Alfatech]-[管理ツール]-[電キャビ]-[旧電キャビの設定・データの移行]を選択します。

Windows10、8.1、8 の場合は、アルファテックランチャー内の左ペイン「Alfatech」ー「管理ツール」ー「電キャビ」にある「旧電キャビの設定・データの移行」から起動します。

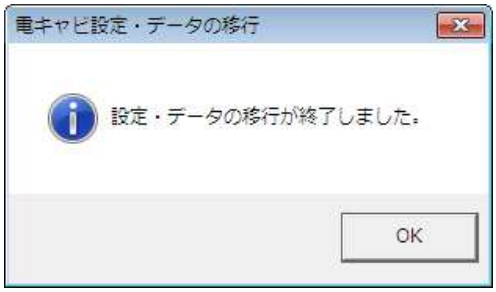
電キャビの設定・データの移行ダイアログが表示されます。

環境の一覧には、選択できるACAD-DENKIの環境説明が表示されます。



2.データの移行を行う環境を選択します。

[OK]をクリックします。



3.確認のダイアログは[OK]をクリックして終了します。

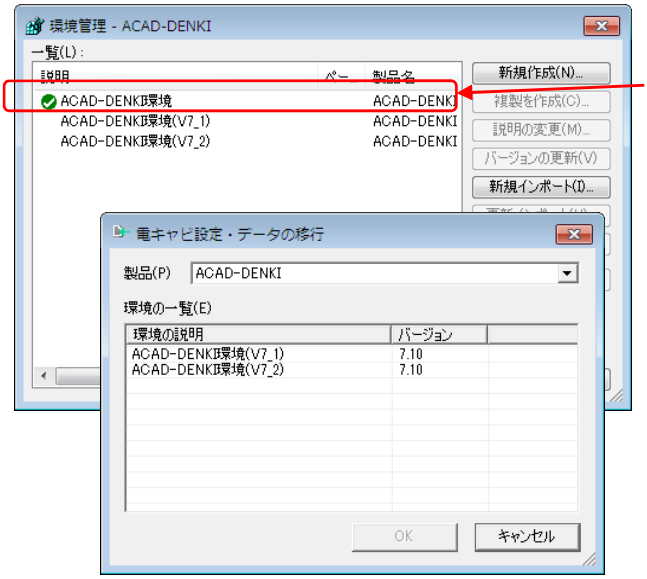
移行処理終了後、電キャビを起動してフォルダ構成をご確認ください。

旧バージョンでは環境を分けて起動していました。

ACAD-DENKIの複数環境があった場合、Ver.8 以降では異階層表示ができるため、フォルダ構成全てが電キャビ画面内に一括表示されます。

2.3.3.移行対象の確認とメッセージについて

電キャビ設定・データの移行で環境の一覧に表示される「環境の説明」は、その中に電キャビの環境があるものだけになります。

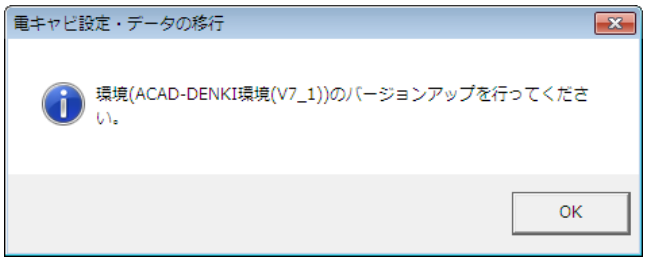


（例）

「ACAD-DENKI環境」は最新環境で新規作成した環境です。

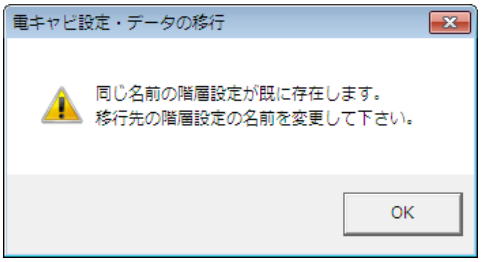
ACAD-DENKI環境には移行する電キャビの情報がありませんので「電キャビ設定・データの移行」ダイアログの選択肢には表示されません。

残りの 2 つは旧バージョンから移行した環境であり、電キャビの環境が含まれていますので、移行対象となります。



環境のバージョンアップを行わずに、先に電キャビの移行を行った例です。

電キャビの環境移行後に図のようなメッセージが出た場合は前章の環境のバージョンアップを先に行ってください。



既に移行済みの環境に再度電キャビの移行を行った例です。

既に環境が存在していますので、そのまま終了し、電キャビの階層設定を起動して確認してください。

2.3.4.ACAD-DENKI2000 使用環境からの移行

ACAD-DENKI2000 からACAD-DENKIへ製品を変更した場合の電キャビの移行方法について説明します。

（準備）

ACAD-DENKI2000 の環境をエクスポートします。

エクスポートは「更新インポート」が行えるように[設定]で“すべての環境”を選択します。

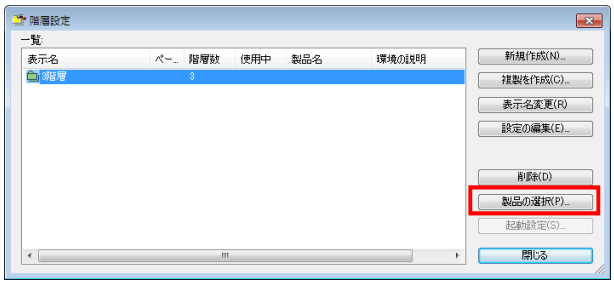
ACAD-DENKIの環境に更新インポートを行います。

（製品の選択操作）

電キャビの階層設定で、起動環境の選択を行います。

本例は、階層設定でACAD-DENKI2000 の環境を割り付けていた場合の選択方法です。

本作業は、ACAD-DENKIをインストールしている端末で行います。



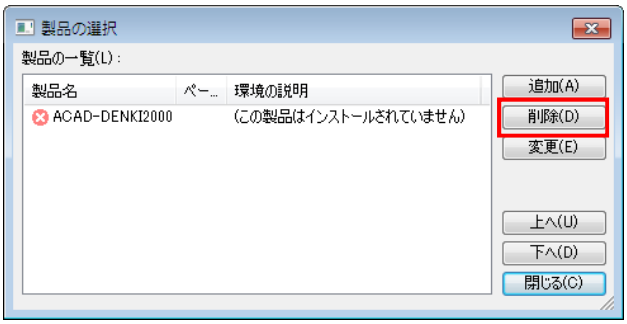
1.[スタート]-[すべてのプログラム]-[Alfatech]-[管理ツール]-[電キャビ]-[階層設定]を選択します。

Windows10、8.1、8 の場合は、アルファテックランチャー内の左ペイン「Alfatech」ー「管理ツール」ー「電キャビ」にある「階層設定」から起動します。

階層設定ダイアログが表示されます。

起動製品の環境が認識できない場合、製品名は空になります。環境を選択します。

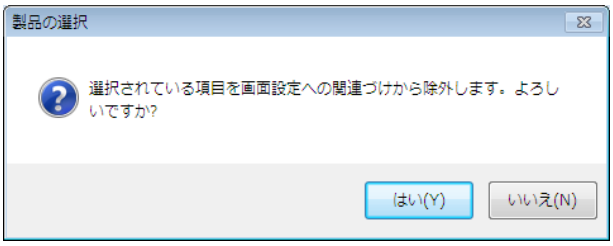
[製品の選択(P)]をクリックします。



2.製品の選択ダイアログが表示されます。

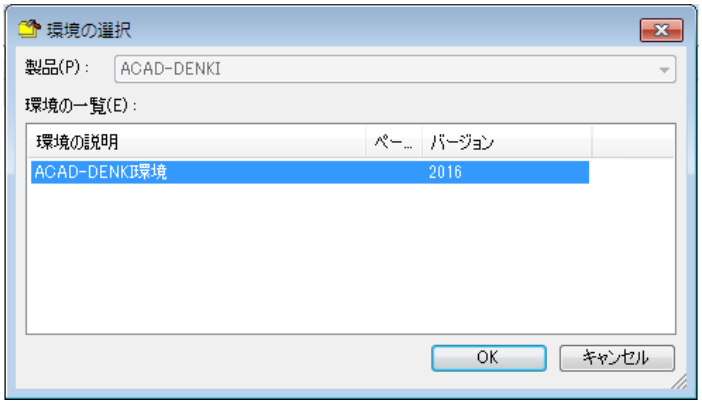
製品名が認識されない場合は、右図のように赤い×マークが表示されます。

移行先の環境を選択します。[削除(D)]をクリックします。



3.確認のメッセージが表示されます。

[はい(Y)]をクリックします。



4.製品の選択ダイアログの[追加(A)]をクリックします。

5.製品の選択が表示されます。

[OK]をクリックします。

6. [閉じる(C)]をクリックします。

これで、起動製品の変更は完了です。

階層設定を終了します。

3章.他社環境からの移行

3.1.製品のバージョンについて

ここではバージョンの確認方法について説明します。

3.1.1.ACAD-DENKI のバージョンの確認

ACAD-DENKIメニュー[？]-[バージョン情報]を選択します。

ACAD-DENKI製品のバージョンと現在実行中の環境を確認することができます。

3.1.2.電キャビのバージョンの確認

電キャビメニューの[ヘルプ(H)]-[バージョン情報]を選択します。

電キャビのバージョン情報ダイアログが表示され、電キャビのバージョンを確認することができます。

3.1.3.環境のバージョンの確認

Windows10 の場合

[スタート]-[プログラム]-[A]-[Alfatech]-[アルファテックランチャー]を選択し起動します。左ペインで「Alfatech」-「管理ツール」-「電キャビ」を選択し、右ペインで「環境管理」を選択し、[起動]ボタンをクリックします。

Windows8.1/8 の場合

[アプリ]-[A]-[Alfatech]-[アルファテックランチャー]を選択し起動します。左ペインで「Alfatech」-「管理ツール」-「電キャビ」を選択し、右ペインで「環境管理」を選択し、[起動]ボタンをクリックします。

Windows7 の場合

[スタート]-[すべてのプログラム]-[Alfatech]-[管理ツール]-[電キャビ]-[環境管理]を選択します。

環境管理ダイアログが表示されます。

環境のバージョンを確認することができます。

Windows10 の場合

[スタート]-[プログラム]-[A]-[Alfatech]-[アルファテックランチャー]を選択し起動します。左ペインで「Alfatech」-「管理ツール」-「ACAD-DENKI」を選択し、右ペインで「環境管理」を選択し、[起動]ボタンをクリックします。

Windows8.1/8 の場合

[アプリ]-[A]-[Alfatech]-[アルファテックランチャー]を選択し起動します。左ペインで「Alfatech」-「管理ツール」-「ACAD-DENKI」を選択し、右ペインで「環境管理」を選択し、[起動]ボタンをクリックします。

Windows7 の場合

[スタート]-[すべてのプログラム]-[Alfatech]-[管理ツール]-[ACAD-DENKI]-[環境管理]を選択します。

環境管理ダイアログが表示されます。

各環境のバージョンを確認することができます。

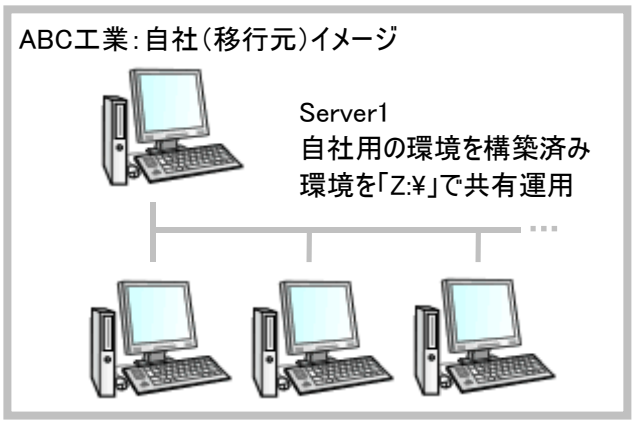
3.2.環境の移行について

本章では、他社間との環境の受け渡しについて、1 つの運用例をもとに、環境の移行・確認・シンボルの移行、環境の追加方法などを説明します。

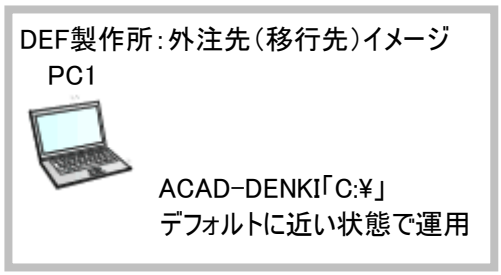
3.2.1.環境例

ここでは、下図のような仮想環境を例として、「自社（移行元）」から「外注先（移行先）」への環境の移行方法を説明します。

■ABC工業 「自社（移行元）」
ACAD-DENKIをクライアントにインストール
環境の作成先をserver1 にして共有化済み
ACAD-DENKIの使用環境は構築済み
電キャビの使用環境は構築済み



■DEF製作所 「外注先（移行先）」
ACAD-DENKIをPC1 にインストール済み
ACAD-DENKIを起動して、DEF製作所用の環境を作成済み
電キャビの起動・環境の作成は行っていない



本例では、環境を共有管理している「ABC工業（移行元）」から、共有管理していない「DEF製作所（移行先）」への移行を例としていますが、移行先でデータや環境を共有管理している場合も同じです。

本例では、弊社製品ACAD-DENKI/電キャビを使用した環境・シンボル庫の移行を例としています。

3.2.2.新規環境の移行手順

1.ABC工業（自社）での準備
ABC工業（自社）の環境をエクスポート ABC工業（自社）のシンボルを適当なメディアにコピー

↓

2.DEF製作所（外注先）への移行
DEF製作所（外注先）の環境へのインポート DEF製作所（外注先）のシンボル庫以下に、ABC工業のシンボルをコピー

↓

3.DEF製作所（外注先）の環境の確認
ACAD-DENKIで環境を選択して起動

3.2.3.電キャビ（ACAD-DENKI）環境の更新手順

移行先が電キャビを**使用している場合**、こちらをご参照ください。

1.ABC工業（自社）の環境を変更、更新した後の環境をエクスポート
ABC工業（自社）の環境をエクスポート

↓

2.DEF製作所（外注先）への移行
DEF製作所（外注先）の環境への更新インポート

3.2.4.環境の更新手順

移行先が電キャビを**使用していない場合**、こちらをご参照ください。

1.ABC工業（自社）の環境を変更、更新した後の環境をエクスポート
ABC工業（自社）の環境を部分エクスポート

↓

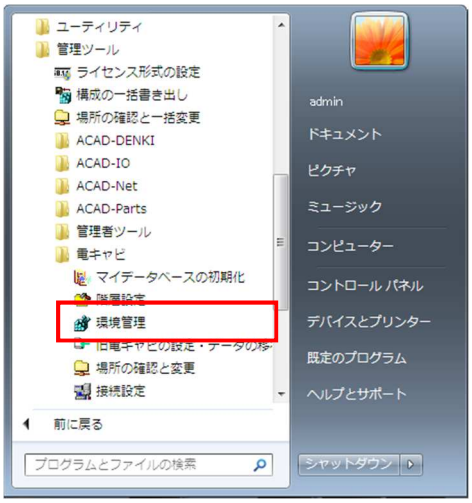
2.DEF製作所（外注先）への移行
DEF製作所（外注先）の環境への更新インポート

3.3.新規環境移行-自社(移行元)の準備

ここでは、ABC工業(自社)の環境を、DEF製作所(外注先)に渡すための準備作業を説明します。

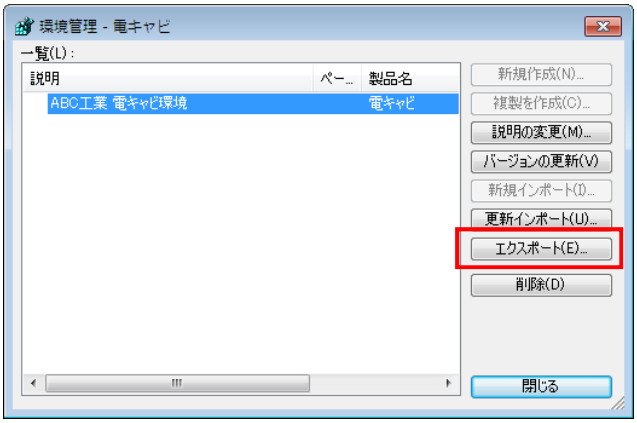
3.3.1.自社環境のエクスポート

ABC工業(自社)で使用している電キャビ(ACAD-DENKI環境含む)環境を、DEF製作所(外注先)の電キャビ(ACAD-DENKI環境含む)環境に移行するための準備をします。



1.[スタート]-[すべてのプログラム]-[Alfatech]-[管理ツール]-[電キャビ]-[環境管理]を選択します。

Windows10、8.1、8 の場合は、アルファテックランチャー内の左ペイン「Alfatech」ー「管理ツール」ー「電キャビ」にある「環境管理」から起動します。



2.環境設定ダイアログが表示されます。

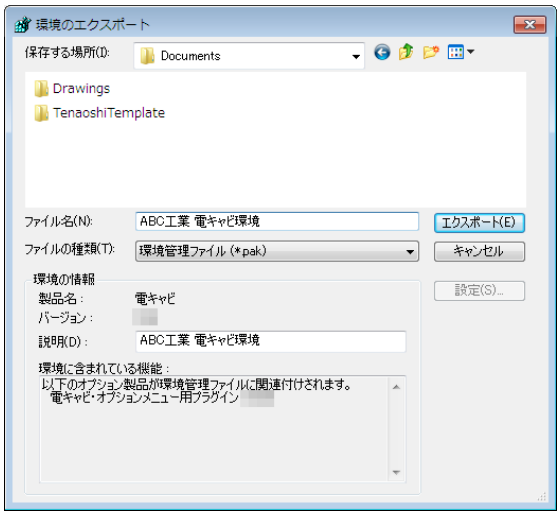
環境管理の一覧には、環境説明が表示されます。

環境を選択します。

例

ABC工業電キャビ環境

3.[エクスポート(E)...]をクリックします。



4.環境のエクスポートダイアログが表示されます。

保存する場所を指定します。

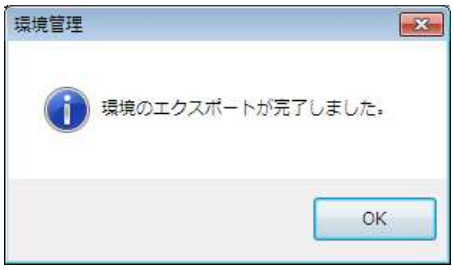
ファイル名を入力します。

例

ファイル名:ABC工業　電キャビ環境

※バージョンには環境のバージョンが表示されます。

5.[エクスポート(E)]をクリックします。エクスポートが始まります。



6.環境のエクスポート完了のダイアログが表示されます。

[OK]をクリックします。

7.環境管理ダイアログの初期表示に戻ります。

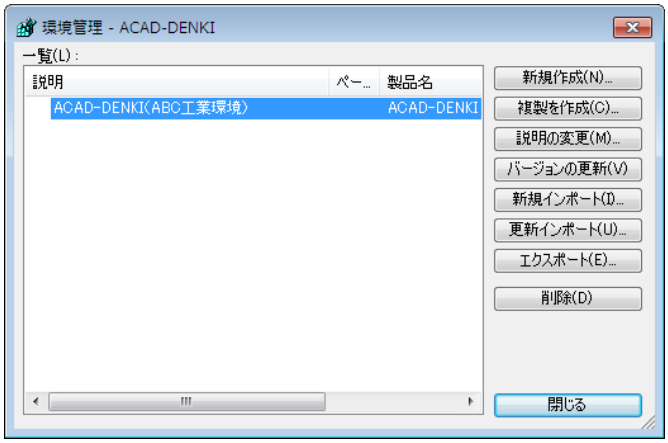
[閉じる]をクリックします。

これで、ABC工業（自社）の環境をDEF製作所（外注先）に渡す準備の終了です。

エクスポートしたファイルの拡張子は「*.pak」となります。

● ACAD-DENKIの環境パックファイルだけを作成する場合

[スタート]-[すべてのプログラム]-[Alfatech]-[管理ツール]-[ACAD-DENKI]-[環境管理]から、同様の手順で環境ファイルをエクスポートしてください。

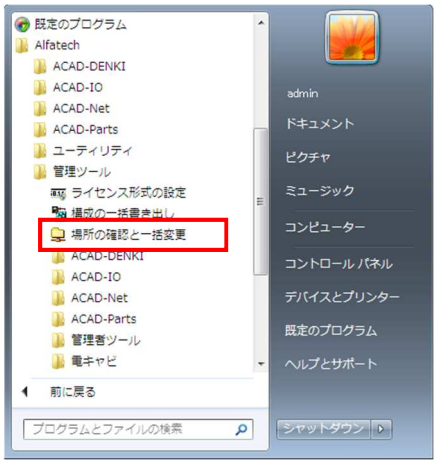


Windows10、8.1、8 の場合は、アルファテックランチャー内の左ペイン「Alfatech」ー「管理ツール」ー「ACAD-DENKI」を選択し、右ペインにある「環境管理」から起動します。

3.3.2.シンボル庫の確認とコピー

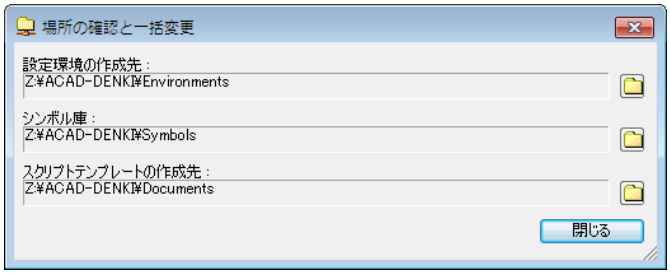
ABC工業（自社）で作成・使用しているACAD-DENKIのシンボルを、DEF製作所（外注先）のACAD-DENKI環境に移行するための準備をします。

本作業は、シンボルを移行するための説明です。シンボルを移行しない場合は、本作業は不要です。



1.[スタート]-[すべてのプログラム]-[Alfatech]-[管理ツール]-[場所の確認と一括変更]を選択します。

Windows10、8.1、8 の場合は、アルファテックランチャー内の左ペイン「Alfatech」ー「管理ツール」ー「場所の確認と一括変更」から起動します。

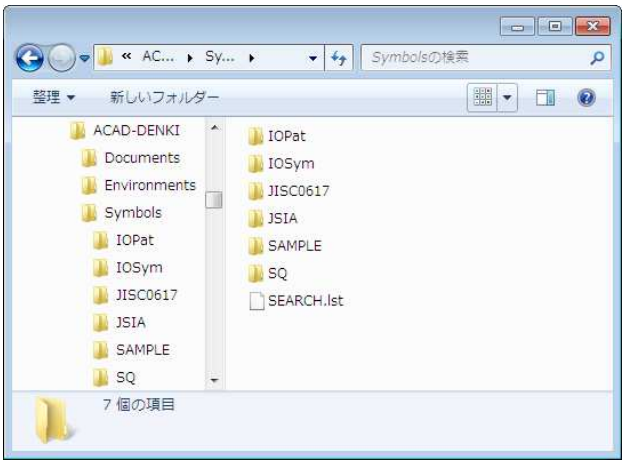


2.場所の確認と一括変更ダイアログが表示されます。

シンボル庫フォルダを確認します。

ここでは確認のみです。

[閉じる]をクリックします。



3.エクスプローラなどで、DEF製作所（外注先）に渡すシンボルを、適当なメディアにコピーします。

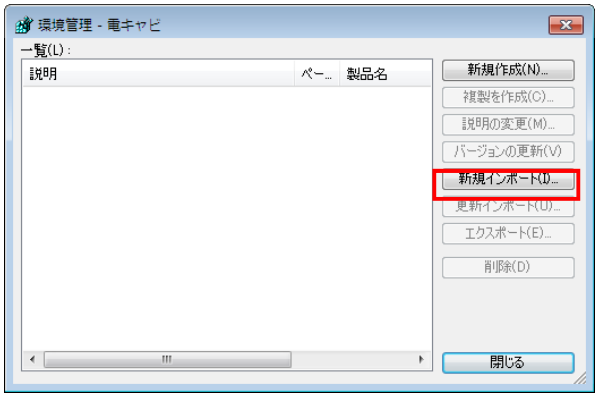
図は、エクスプローラで対象となるシンボル庫以下を表示している例です。

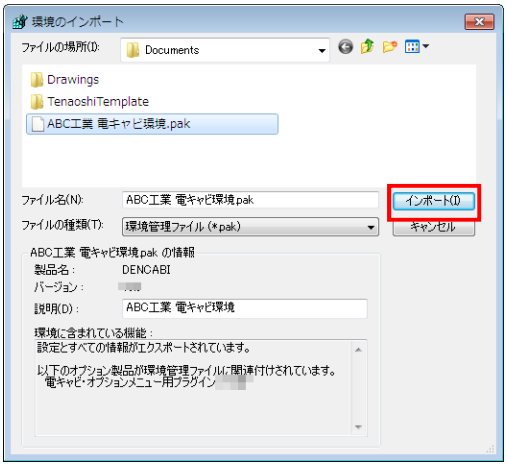
3.4.新規環境移行-外注先(移行先)の作業

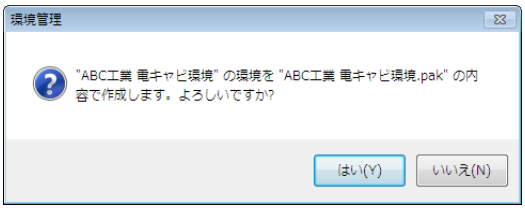
ここでは、前章で作成した「ABC工業　電キャビ環境pak」と「シンボル庫をコピーしたメディア」が、DEF製作所(外注先)に渡されたことを前提にして、環境の移行作業を説明します。

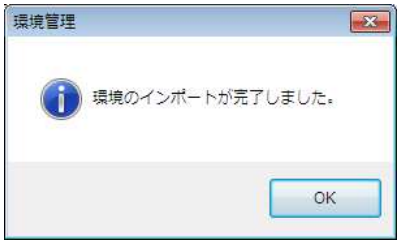
3.4.1.外注先でのインポート

ABC工業(自社)で使用しているACAD-DENKIの環境を前章で「ABC工業　電キャビ環境pak」名でエクスポートしましたので、次に「ABC工業　電キャビ環境Pak」をDEF製作所(外注先)のACAD-DENKI環境にインポート(移行)します。









1.[スタート]-[すべてのプログラム]-[Alfatech]-[管理ツール]-[電キャビ]-[環境管理]を選択します。

Windows10、8.1、8 の場合は、アルファテックランチャー内の左ペイン「Alfatech」ー「管理ツール」ー「電キャビ」にある「環境管理」から起動します。

2.環境設定ダイアログが表示されます。

図は、電キャビの環境が無い状態です。

3.[新規インポート(I)...]をクリックします。

4.環境のインポートダイアログが表示されます。

移行元(ABC工業)から提供されたPAKファイルを選択します。

例

ファイル名:ABC工業　電キャビ環境

※バージョンには選択環境のバージョンが表示されます

5.[インポート(I)]をクリックします。

6.確認のダイアログが表示されます。

[はい(Y)]をクリックします。

ファイルのコピーが始まります。

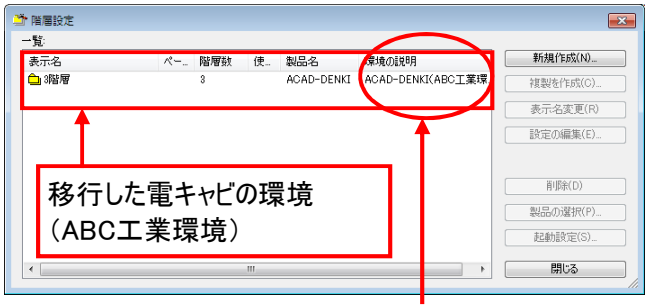
7.環境のインポート完了のダイアログが表示されます。

[OK]をクリックします。

8.環境管理の初期ダイアログが再度表示されます。

[閉じる]をクリックします。

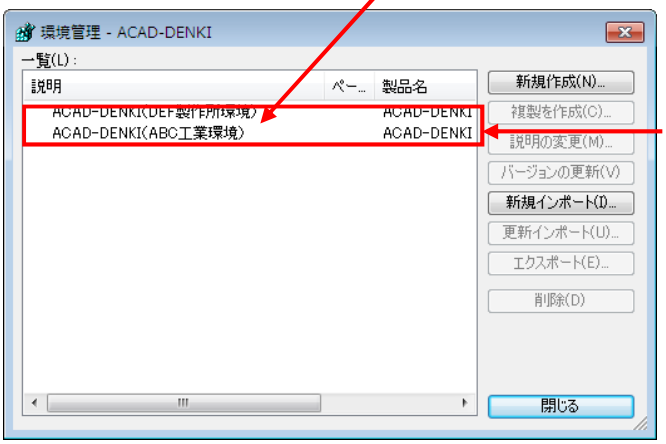
これで、環境の新規インポートの終了です。



DEF製作所にインポートされた電キャビ環境の階層設定を表示させた例です。

電キャビ環境とあわせてACAD-DENKIの環境「ACAD-DENKI(ABC工業環境)」もインポートされます。

移行した電キャビ環境に関連付けられているACAD-DENKI環境

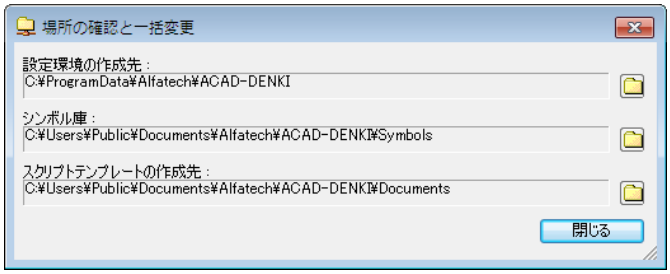


ACAD-DENKIの環境管理を表示させた例です。

電キャビの環境と合わせて、電キャビの階層設定に関連付けられているACAD-DENKIの環境「ACAD-DENKI(ABC工業環境)」もインポートされます。

3.4.2.シンボルのコピー

ABC工業(自社)で使用しているACAD-DENKIシンボルを前章で適当なメディアにコピーしましたので、次に「シンボル」をDEF製作所(外注先)のACAD-DENKI環境のシンボル庫にコピーします。



1.[スタート]-[すべてのプログラム]-[Alfatech]-[管理ツール]-[場所の確認と一括変更]を選択します。

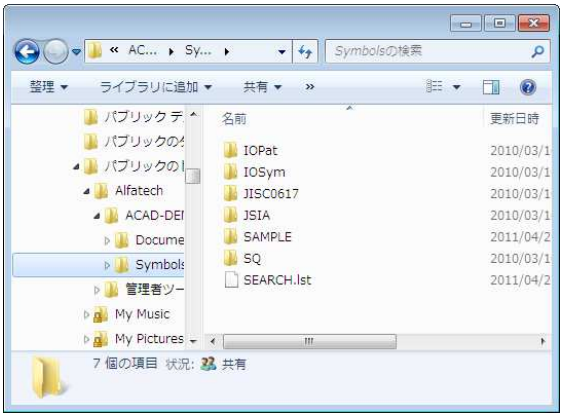
Windows10、8.1、8 の場合は、アルファテックランチャー内の左ペイン「Alfatech」ー「管理ツール」を選択し、右ペインにある「場所の確認と一括変更」から起動します。

2.場所の確認と一括変更ダイアログが表示されます。

シンボル庫フォルダを確認します。

ここでは確認のみです。

[閉じる]をクリックします。



3.エクスプローラなどで、ABC工業（移行元）からのシンボルを、確認したシンボル庫以下にコピーします。

図はエクスプローラで対象となるシンボル庫以下を表示している例です。

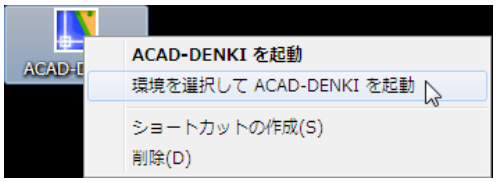
ご注意

「シンボル庫のコピー」作業で、エクスプローラからシンボル庫以下にシンボルフォルダを追加された場合、そのままでは起動したACAD-DENKIのシンボルパレットには追加されたフォルダが表示されません。

その場合は起動したACAD-DENKIで、[シンボル]-[シンボルサーチリスト更新]を行ってください。

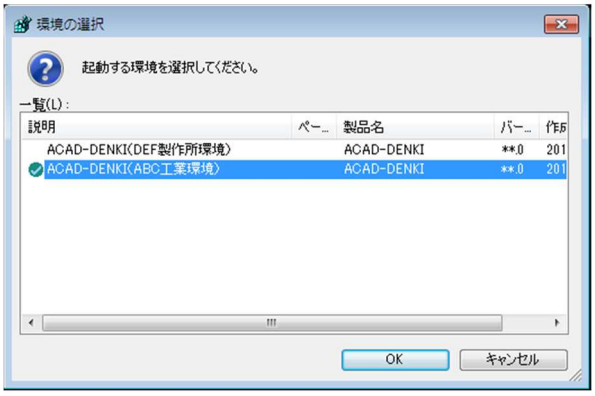
3.4.3.環境を指定して ACAD-DENKI を起動

「ABC工業環境」と「DEF製作所」の環境があるなど、複数のACAD-DENKI環境から環境を指定してACAD-DENKIを起動する操作を説明します。



1.デスクトップのACAD-DENKIアイコンを右クリックします。

表示されるメニューから「環境を選択してACAD-DENKIを起動」を選択します。



2.環境の選択ダイアログが表示されます。

起動する環境を選択します。

例

ACAD-DENKI（ABC工業環境）

バージョン(**.0)には環境のバージョンが表示されます。

3.[OK]をクリックします。選択した環境でACAD-DENKIが起動します。

補足

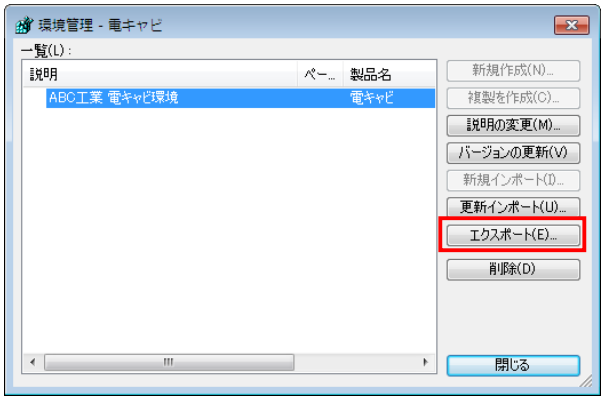
デスクトップにあるACAD-DENKIのシェルオブジェクト（アイコン）をダブルクリックした場合は、直前に実行した環境で起動します。

3.5.電キャビ(ACAD-DENKI)更新環境の移行

ABC工業(自社)からDEF製作所(外注先)に環境を移行後に、ABC工業(自社)で追加した図題情報・図枠など
ACAD-DENKIの環境差分のみを移行する方法を説明します。

3.5.1.移行元の環境エクスポート(電キャビ)

ABC工業(自社)で追加した電キャビ環境・ACAD-DENKIの部分環境を抽出したPAKファイルを作成します。



1.[スタート]-[すべてのプログラム]-[Alfatech]-[管理ツール]-[電キャビ]-[環境管理]を選択します。

Windows10、8.1、8 の場合は、アルファテックランチャー内の左ペイン「Alfatech」ー「管理ツール」ー「電キャビ」にある「環境管理」から起動します。

2.環境管理ダイアログが表示されます。

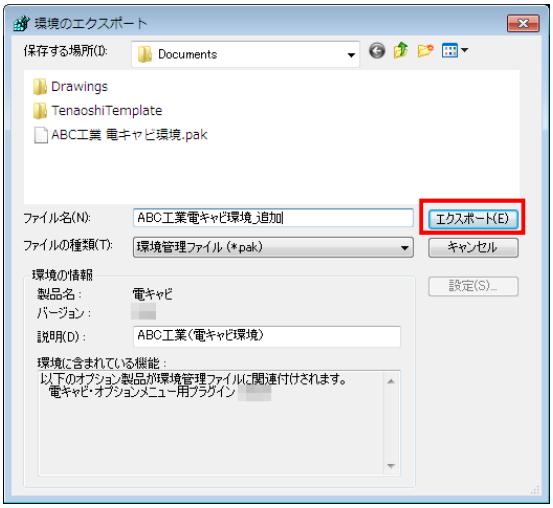
環境管理の一覧には、環境説明が表示されます。

環境を選択します。

例

ABC工業　電キャビ環境

3.[エクスポート(E)...]をクリックします。



4.環境のエクスポートダイアログが表示されます。

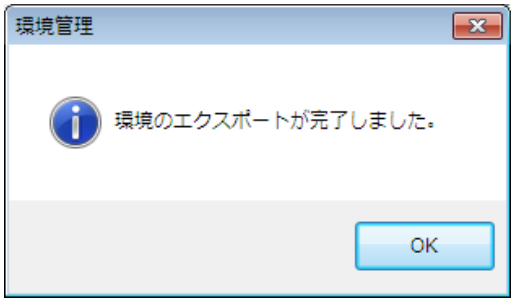
保存する場所を選択します。(保存する場所のデフォルトは「場所の確認と一括変更」の"テンプレートの作成先"になります。

ファイル名を入力します。

例)　ファイル名

ABC工業電キャビ環境_追加

5.[エクスポート(E)]をクリックします。ファイルのコピーが始まります。



6.環境のエクスポート完了のダイアログが表示されます。

[OK]をクリックします。

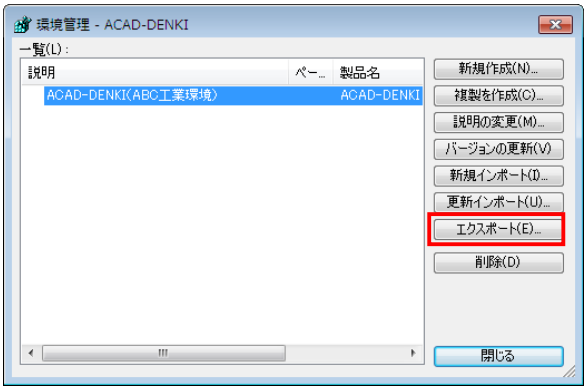
7.環境管理ダイアログは[閉じる]をクリックして終了します。

続いて、関連製品の環境のPAKファイル(ACAD-DENKI)も別途準備します。

3.5.2.移行元環境の部分エクスポート(ACAD-DENKI)

ABC工業(自社)で追加した図題情報・図枠・部品マスタデータベース情報の差分のみを抽出したPAKファイルを作成します。

ABC工業(自社)で追加した図題情報・図枠・部品マスタデータベース情報などACAD-DENKIの環境差分のみを移行する方法です。



1.[スタート]-[すべてのプログラム]-[Alfatech]-[管理ツール]-[ACAD-DENKI]-[環境管理]を選択します。

Windows10、8.1、8 の場合は、アルファテックランチャー内の左ペイン「Alfatech」ー「管理ツール」ー「ACADーDENKI」にある「環境管理」から起動します。

2.環境管理ダイアログが表示されます。

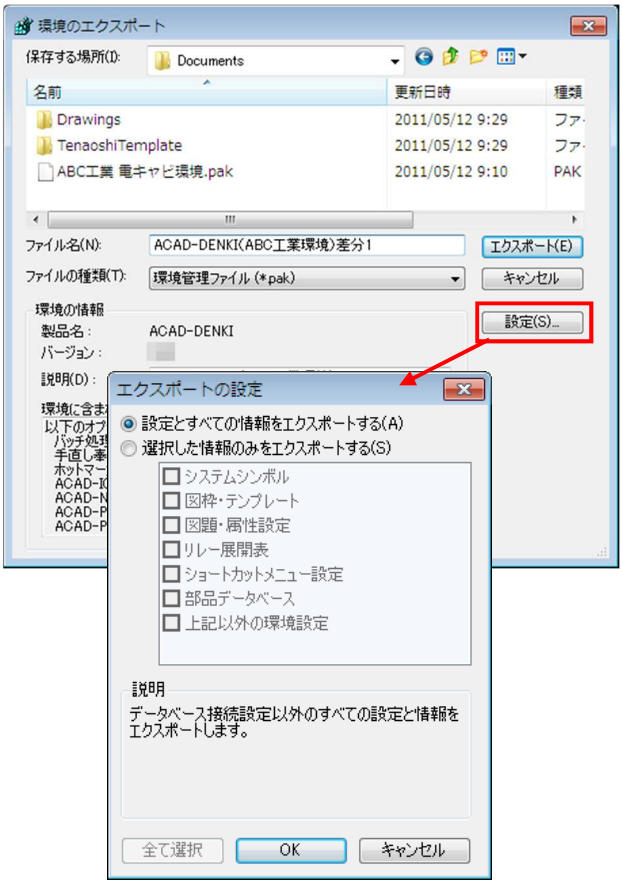
環境管理の一覧には、使用可能な環境が表示されています。

DEF製作所(外注先)に渡す環境を選択します。

例

ACAD-DENKI(ABC工業環境)

3.[エクスポート(E)...]をクリックします。



4.環境のエクスポートダイアログが表示されます。

保存する場所を選択します。(保存する場所のデフォルトは「場所の確認と一括変更」の"テンプレートの作成先"になります。

ファイル名を入力します。

例) ファイル名

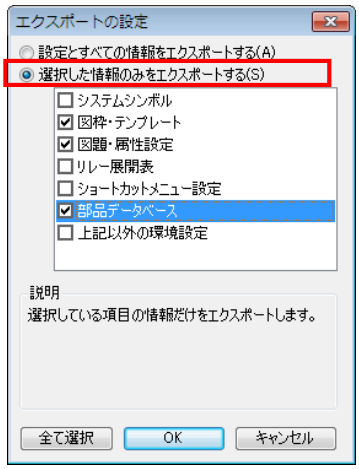
ACAD-DENKI(ABC工業環境)差分 1

バージョンには環境のバージョンが表示されます。

5.[設定(S)]をクリックします。

エクスポートの設定ダイアログが表示されます。

全ての情報をパックファイルにする場合は[設定(S)]を押さずにそのままエクスポートしてください。



6.「選択した情報のみをエクスポートする」を選択します。

7.エクスポートする環境のみを選択します。

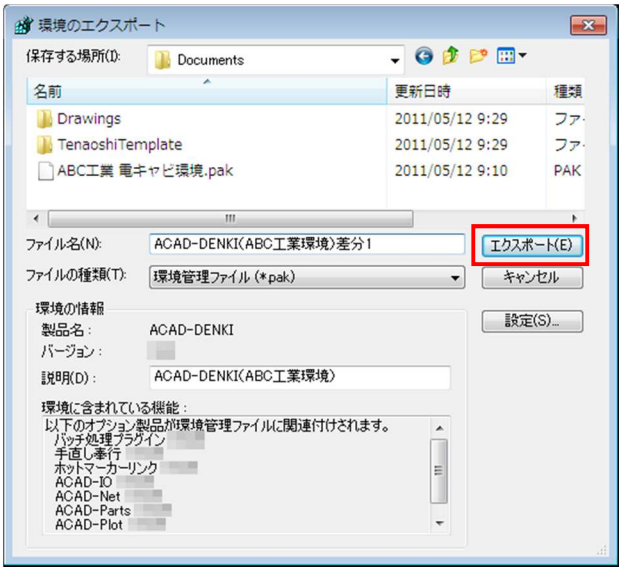
例）

図枠・テンプレート

図題・属性設定

部品データベース

8.[OK]をクリックします。

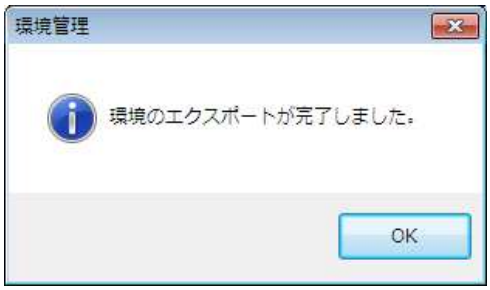


9.環境のエクスポートダイアログに戻ります。

[エクスポート(E)]をクリックします。

ファイルのコピーが始まります。

バージョンには環境のバージョンが表示されます。



10.環境のエクスポート完了のダイアログが表示されます。

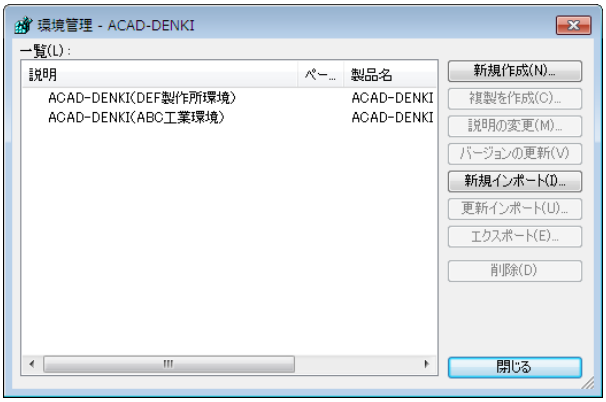
[OK]をクリックします。

11.環境管理ダイアログは[閉じる]をクリックして終了します。

これで、ABC工業（自社）の追加差分環境をDEF製作所（外注先）に渡す準備の終了です。

3.5.3.移行先での更新インポート(ACAD-DENKI)

ABC工業(自社)で追加したACAD-DENKIの差分環境をDEF製作所(外注先)のACAD-DENKI環境に更新インポートします。



1.[スタート]-[すべてのプログラム]-[Alfatech]-[管理ツール]-[ACAD-DENKI]-[環境管理]を選択します。

Windows10、8.1、8 の場合は、アルファテックランチャー内の左ペイン「Alfatech」ー「管理ツール」ー「ACAD-DENKI」にある「環境管理」から起動します。

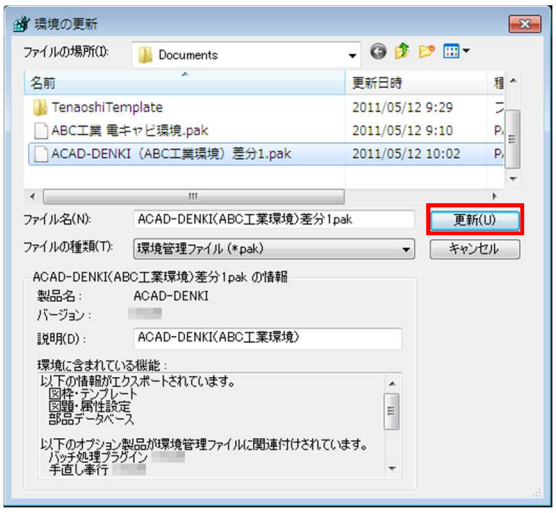
2.環境管理ダイアログが表示されます。

更新インポートする環境を選択します。

例

ACAD-DENKI(ABC工業環境)

3.[更新インポート(U)...]をクリックします。



4.環境の更新ダイアログが表示されます。

移行元(ABC工業)から提供された差分パックファイルを選択します。

例)ファイル名

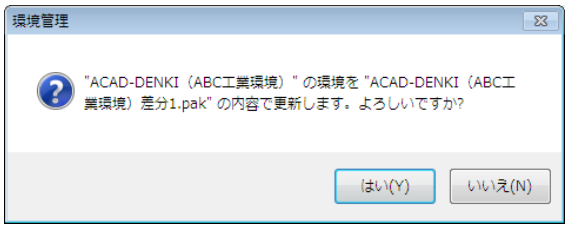
ACAD-DENKI(ABC工業環境)_差分 1

ダイアログの下の「環境に含まれている機能」には、選択したパックファイルに含まれている情報が表示されます。

5.[更新(U)]をクリックします。

全ての情報をパックファイルにする場合は[設定(S)]を押さずにそのままエクスポートしてください。

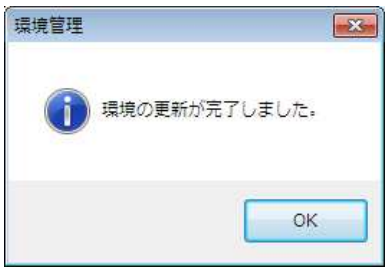
バージョンには環境のバージョンが表示されます。



6.確認のダイアログが表示されます。

[はい(Y)]をクリックします。

ファイルコピーが始まります。



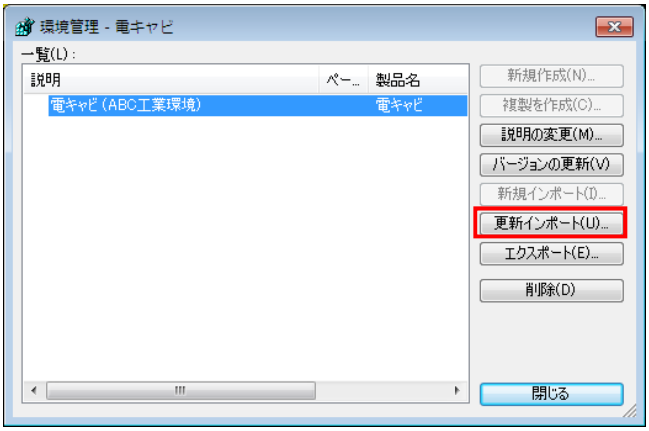
7.環境のインポート完了のダイアログが表示されます。

[OK]をクリックします。

8.環境管理ダイアログは[閉じる]をクリックして終了します。これで、環境の更新インポートの終了です。

3.5.4.移行先での更新インポート(電キャビ)

ABC工業(自社)でエクスポートした電キャビの環境をDEF製作所(外注先)の電キャビ環境に更新インポートします。



1.[スタート]-[すべてのプログラム]-[Alfatech]-[管理ツール]-[電キャビ]-[環境管理]を選択します。

Windows10、8.1、8 の場合は、アルファテックランチャー内の左ペイン「Alfatech」ー「管理ツール」ー「電キャビ」にある「環境管理」から起動します。

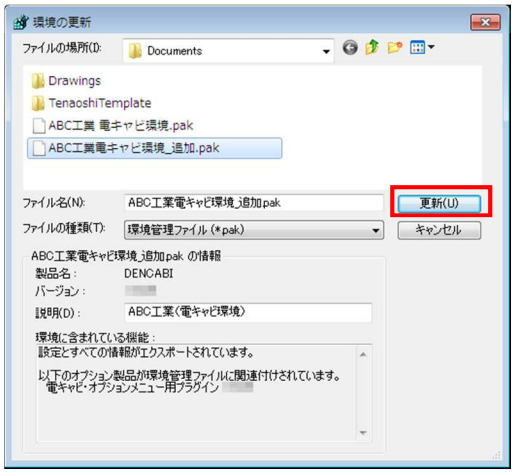
2.環境管理ダイアログが表示されます。

更新インポートする環境を選択します。

例

ABC工業電キャビ環境

3.[更新インポート(U)...]をクリックします。



4.環境の更新ダイアログが表示されます。

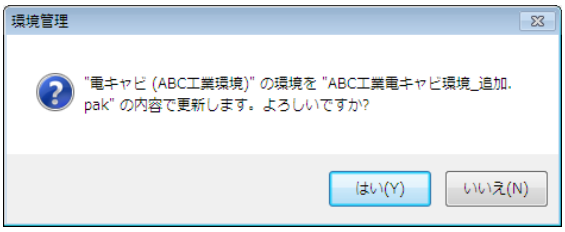
移行元(ABC工業)から提供された差分パックファイルを選択します。

例)ファイル名

ABC工業電キャビ環境_追加

ダイアログの下の「環境に含まれている機能」には、選択したパックファイルに含まれている情報が表示されます。

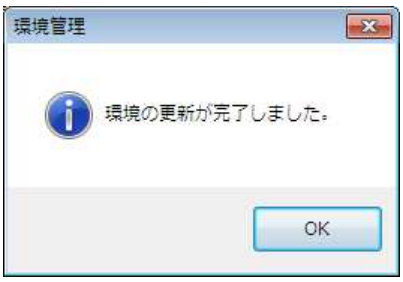
5.[更新(U)]をクリックします。



6.確認のダイアログが表示されます。

[はい(Y)]をクリックします。

ファイルコピーが始まります。



7.環境のインポート完了のダイアログが表示されます。[OK]をクリックします。

8.環境管理ダイアログは[閉じる]をクリックして終了します。これで、環境の更新インポートの終了です。

4章.運用について

4.1.異なるバージョン環境での運用

ACAD-DENKI最新バージョンと旧バージョンの環境を運用する場合、本章をご参考ください。

4.1.1.ACAD-DENKI 運用例

● 複数台の端末を移行期間（1 週間などの短期間）内を用いて徐々にバージョンアップする必要がある。

ACAD-DENKI旧バージョンでは旧バージョンの環境を指定して起動する必要があります。

また、ACAD-DENKI最新バージョンでは最新バージョンの環境を指定して起動する必要があります。

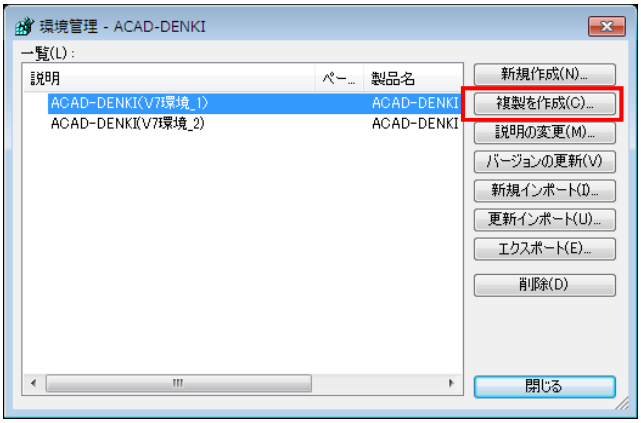
ACAD-DENKI旧バージョンは、最新のバージョンの環境で起動することができませんのでご注意ください。

● 取引先のACAD-DENKIとバージョンが違う。

環境の受け渡し時には、移行元でACAD-DENKI環境管理の[エクスポート]で[設定]ボタンを押し、部分エクスポートを実行してください。

移行先では、既存の環境に更新インポートを実行してください。

4.1.2.異なるバージョン環境の作成



1.[スタート]-[すべてのプログラム]-[Alfatech]-[管理ツール]-[ACAD-DENKI]-[環境管理]を選択します。

Windows10、8.1、8 の場合は、アルファテックランチャー内の左ペイン「Alfatech」ー「管理ツール」ー「ACAD-DENKI」にある「環境管理」から起動します。

環境管理ダイアログが表示されます。

ACAD-DENKI Ver.7.1 で作成・使用されている環境が表示されている例です。

2. ACAD-DENKI（環境A）を選択します。

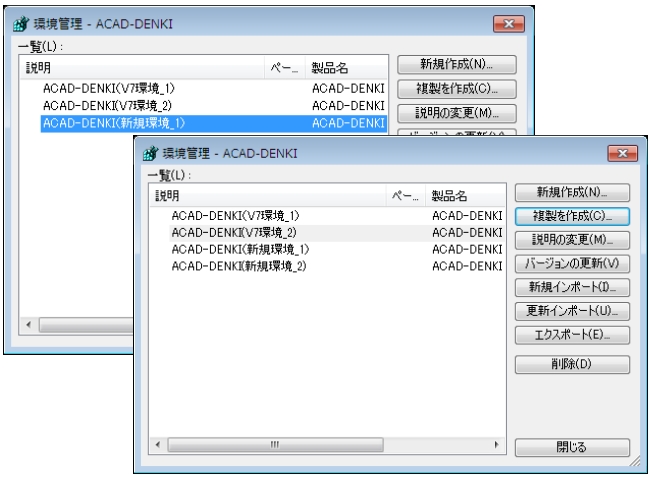
[複製を作成（C）]をクリックします。

環境の複製を作成ダイアログが表示されます。

3.説明を変更します。

例　ACAD-DENKI（新規環境_1）

[OK]をクリックします。



4.説明の欄に作成した環境名が表示されます。

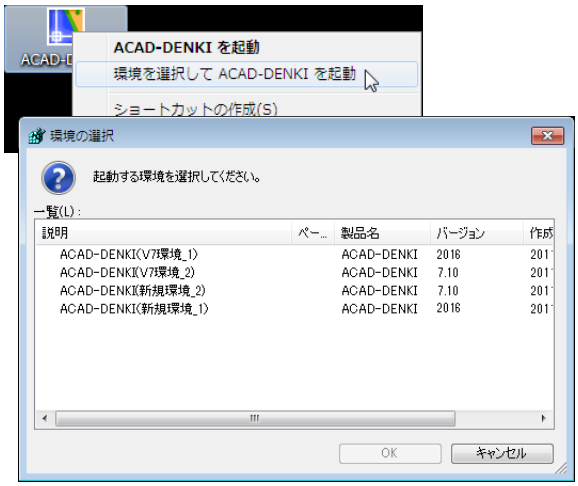
同様の手順で、ACAD-DENKI（V7 環境_2）を複製して、ACAD-DENKI（新規環境B）を作成した例です。

環境が複数あった場合、最新バージョンに移行する環境全てで本作業を行います。

[閉じる]をクリックします。

旧環境で設定の変更があった場合に、旧バージョン環境からエクスポートした環境を最新バージョン環境に更新インポートしてください。

4.1.3.異なるバージョン環境混在時の ACAD-DENKI 起動方法



1.デスクトップのACAD-DENKIアイコンを右クリックします。

表示されるメニューから「環境を選択してACAD-DENKIを起動」を選択します。

2.環境の選択ダイアログが表示されます。

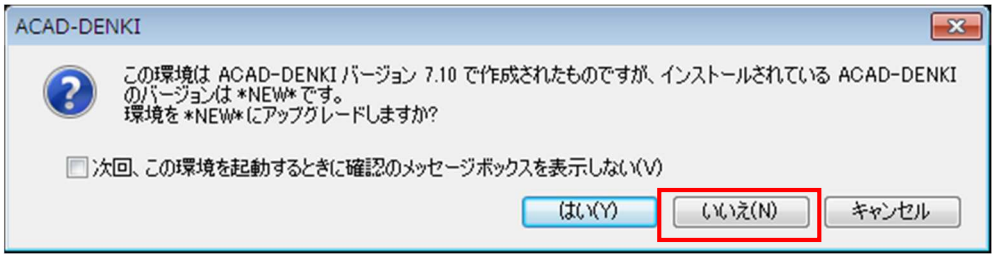
それぞれのバージョンで起動する環境を選択して起動してください。

4.1.4.最新バージョンで旧バージョンの環境を起動したときのご注意

最新バージョンで旧バージョンを起動したときのご注意

ACAD-DENKI最新バージョンで、旧バージョン環境を指定して起動すると、以下のメッセージが表示されます。

[いいえ（N）]をクリックしてください。



※*NEW*には、インストールされている製品のバージョンが表示されます。

[はい（Y）]を選択し、環境のバージョンを上げた場合、旧バージョンのACAD-DENKIは起動できなくなります。

4.2.移行できない設定

移行できない項目について説明します。

4.2.1.ACAD-DENKI 移行ツールで、移行できない設定

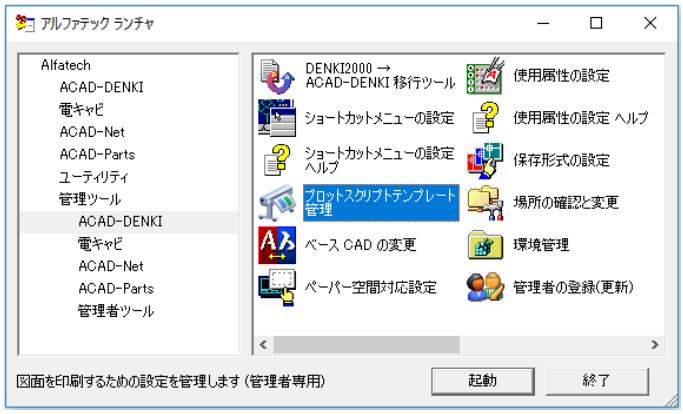
連続印刷スクリプトテンプレートファイル

※ACAD-DENKI2000 をご使用の場合

AutoCAD2000～2002 は、それぞれのテンプレートの内容、コマンドの書式が異なりますので、連続印刷のスクリプトテンプレートファイルをそのまま使用することはできません。

Windows10,8.1,8 の場合

アルファテックランチャー内の左ペイン「Alfatech」ー「管理ツール」ー「ACAD-DENKI」にある「プロットスクリプトテンプレート管理」を起動して、テンプレートの再作成を行ってください。



Windows7 の場合

[スタート]-[すべてのプログラム]-[Alaftech]-[管理ツール]-[ACAD-DENKI]-[プロットスクリプトテンプレート管理]でテンプレートの再作成を行ってください。

5章.付録DENKI2000からの移行

※ご注意

DENKI2000とACAD-DENKIを同じパソコンにインストールされての運用は保証しておりません。

5.1.移行の流れ

DENKI2000/電キャビ 2000 環境をACAD-DENKI、電キャビ環境に移行する流れを説明します。

5.1.1.移行作業と確認順序

必要なファイルの準備
DENKI2000 の設定ファイル、DENKI2000 フォルダなどを移行先のパソコンにコピーします。

↓

DENKI2000→ACAD-DENKI移行ツールの実行
準備した環境をACAD-DENKIの環境に移行します。 この段階ではまだ、電キャビの環境は作成されていません。 DENKI2000 の作図環境がACAD-DENKIで使用できるように構築されています。

↓

旧電キャビからの設定・データ移行
DENKI2000→ACAD-DENKI移行ツールを実行して作成した環境を元に、電キャビの環境を作成します。 DENKI2000 で電キャビを使用していない場合、本作業を行う必要はありません。章の確認のみ行ってください。

5.2.移行準備

移行ツール実行前の準備について説明します。

5.2.1.設定ファイルの確認

設定ファイルを確認します。

設定ファイルとはDENKI2000、電キャビ 2000 のパス情報などが記載されているファイルです。

ファイル名： DENKI2000：denki.ini　電キャビ 2000：dencabi.ini

保存場所： DENKI2000 インストール端末のC:¥Windows（WinNT）以下 （“C:¥”はシステムインストールドライブ）

移行ツールでは、「denki.ini」「dencabi.ini」の記述パスを参照し、DENKI2000 の環境が保存されているパスを認識しています。

認識したフォルダ内の設定をACAD-DENKI用の環境に移行します。

図はdenki.ini（設定ファイル）をメモ帳で開いた例です。

DENKI2000 フルパックをデフォルトでインストールして運用した場合の記述例

5.2.2.設定ファイルのコピー

「denki.ini」「dencabi.ini」ファイルを移行ツール実行マシンのシステムドライブのWindowsフォルダへコピーします。

DENKI2000 を使用しているマシンにACAD-DENKIをインストールする場合は、そのまま実行することができます。

ただし、同時運用はできませんので、環境の移行後にDENKI2000 をアンインストールしてください。

（補足）

移行元、移行先の環境に「電キャビ」が無い場合、「dencabi.ini」ファイルは必要ありません。

5.2.3.DENKI2000 環境のコピー

設定ファイル（denki.ini、dencabi.ini）に記述されている各種パスを確認します。

設定ファイルの記述どおりに移行元のDENKI2000 フォルダをコピーします。

設定ファイルに記述されたパス（ドライブ）が存在しない場合、設定ファイルのパスを「移行処理を実行するマシンから参照できる任意の場所」に変更してください。

移行元であるDENKI2000 フォルダを変更したパスにコピーします。

（例） 旧マシン Z:¥DENKI2000（「denki.ini」記述” Z:¥DENKI2000¥”*”）

新マシン Zドライブが存在しない場合

1.「denki.ini」記述” Z:¥DENKI2000”を” C:¥DENKI2000”に修正

2 旧環境をC:¥DENKI2000 にコピー

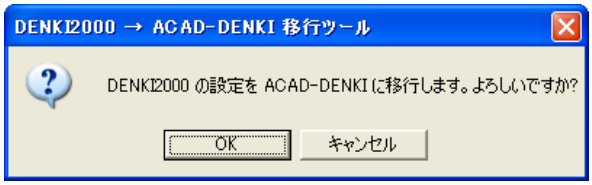
5.3.移行操作

移行操作について説明します。

5.3.1.DENKI2000 -> ACAD-DENKI 移行ツールの実行

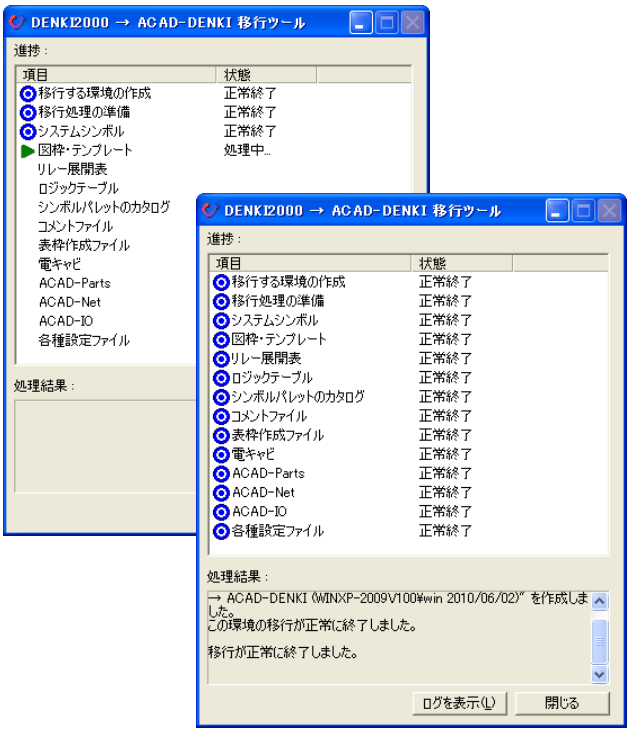
移行ツールの起動方法と、終了までの流れを説明します。

1.[スタート]-[すべてのプログラム]-[Alfatech]-[管理ツール]-[ACAD-DENKI]-[DENKI2000→ACAD-DENKI移行ツール]を選択します。



2. DENKI2000→ACAD-DENKI移行ツールダイアログが表示されます。

[OK]をクリックします。



3.移行が始まります。

項目欄の移行が終了すると、青い記号(◎)が表示されます。

ご注意

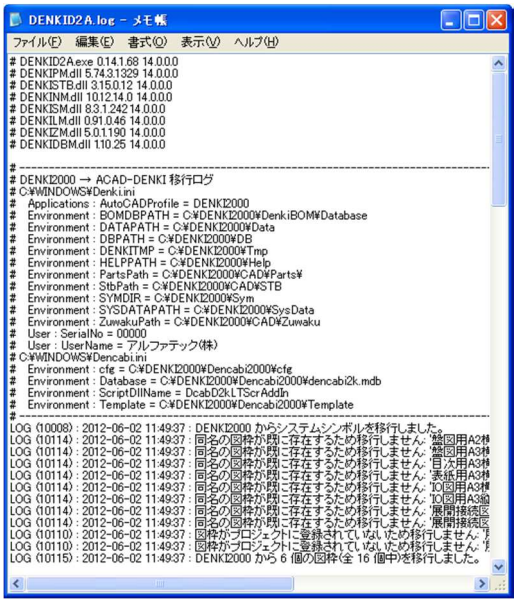
DENKI2000 の標準パックをインストールされている場合でも、項目は全て表示されます。その場合、処理外の項目は"正常終了"と表示されます。

4.処理が終了すると、ダイアログ下部に、処理結果が表示されます。

処理内容を確認する場合は、[ログを表示(L)]をクリックします。

ダイアログを終了する場合は[閉じる]をクリックします。

● DENKID2A.LOG



DENKID2A.LOGを表示させた例です。

LOGファイルの冒頭"*"には、プログラムのバージョン情報が表記されます。

2 項目目は「denki.ini,dencabi.ini」の記述が表記されます。

3 項目目は移行内容を表示します。"*"には、変換日付と時間が表示されます

5.3.2.移行する環境

DENKI2000 移行ツールでは、以下の内容を移行します。

各種設定ファイル（DENKI2000 環境設定の各種設定）

- ・システムシンボル(※1)
- ・図枠・テンプレートファイル
- ・リレー展開表
- ・シンボルパレットのカタログ
- ・コメントファイル
- ・表枠作成ファイル
- ・電キャビ（標準パック・フルパック）環境(※2)
- ・ACAD-Parts（ACAD-Parts使用環境のみ）
- ・ACAD-Net（ACAD-Net使用環境のみ）
- ・ACAD-IO（ACAD-IO使用環境のみ）

※1 システムシンボル・図枠ファイルなどのdwgファイルについて

移行先（ACAD-DENKI環境）に同名のファイルがある場合は上書きしません。

※2 電キャビのデータベース内容について

電キャビのデータベース内容は「DENKI2000->ACAD-DENKI移行ツール」では移行しません。

これらは「電キャビの設定・データの移行」で登録内容のインポート、または移行作業を行います。

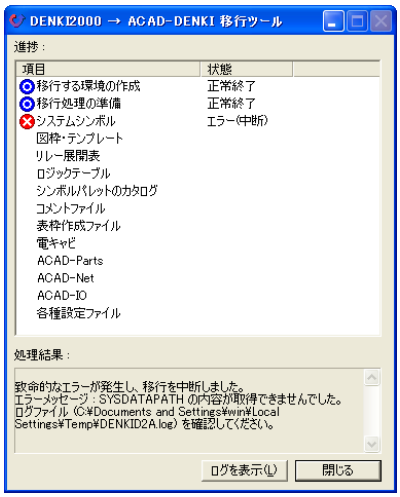
5.4.処理エラーについて

移行処理実行中に表示されるエラーについて説明します。エラーが表示された場合は、内容をご確認の上対応してください。

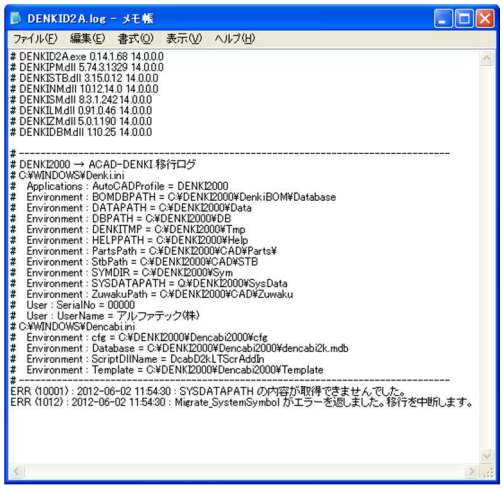
5.4.1.設定ファイル記述内容に関するエラー

DENKI.iniの記述に不備があった場合、また、記述パスが取得できない場合の一例です。

例 1）DENKI.iniの記述に不備がある場合
（DENKI.iniに指定されたパスが存在しない）



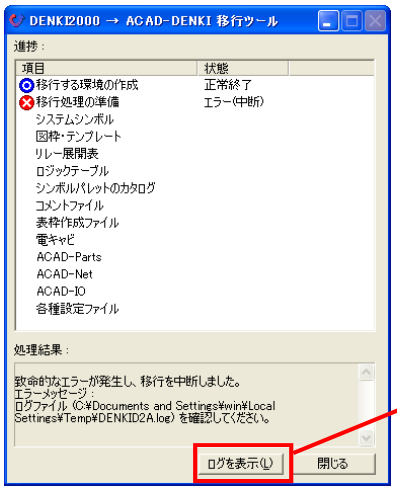
例 2）SYSDETAPATHのQ:¥ドライブが存在しない場合
または、取得できない場合



5.4.2.設定ファイルが見つからないエラー

ACAD-DENKI移行ツール実行中にDENKI.INIが見つからないと致命的なエラーとなります。移行作業を実行中の端末のWindowsパスにDENKI.iniファイルが存在するか確認します。

エラー表示例



ログファイル（DENKID2A.LOG）の保存先は、処理結果に表示されます。（図は一例です。）

[ログを表示]をクリックするとログファイルが開き、内容が確認できます。

ご注意

移行ツールは「denki.ini」と「dencabi.ini」の指定先（ドライブ）を参照して処理を行います。その為、「denki.ini」と「dencabi.ini」の記述に相違があると移行処理が行えません。

必ず「denki.ini」と「dencabi.ini」の記述パスが正しいことを確認してください。

5.5.移行後の環境

移行ツールを実行後、DENKI2000 から移行した環境が作成されます。

5.5.1.環境設定・シンボル・ドキュメント

移行ツール実行後、環境は[スタート]-[すべてのプログラム]-[Alfatech]-[管理ツール]-[場所の確認と一括変更]の「設定環境の作成先」パス以下に作成されます。

シンボルフォルダのシンボルは移行処理の対象外です。

[スタート]-[すべてのプログラム]-[Alfatech]-[管理ツール]-[場所の確認と一括変更]の「シンボル庫」以下に手動でコピーしてください。

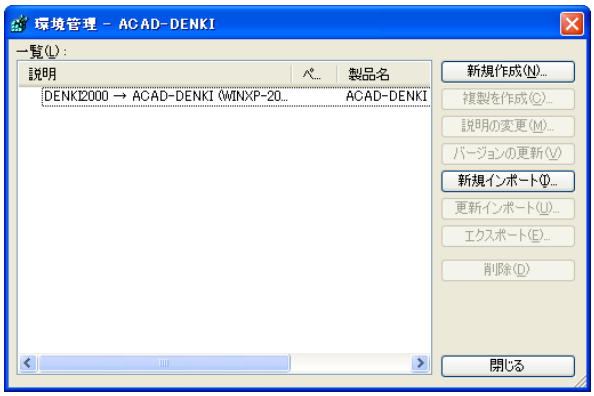
連続印刷時に使用されていたプロットスクリプトテンプレートファイルは移行処理の対象外です。

DENKI2000 とはベースCADの違うACAD-DENKIに変更されますのでそのままのスクリプトは使用できません。

[スタート]-[すべてのプログラム]-[Alfatech]-[管理ツール]-[ACAD-DENKI]-[プロットスクリプトテンプレート管理]にて、再作成してください。

保存先は[スタート]-[すべてのプログラム]-[Alfatech]-[管理ツール]-[場所の確認と一括変更]の「スクリプトテンプレートの作成先」パス以下にある"PlotTemplate"フォルダです。

5.5.2.移行した環境名称



1. [スタート]-[すべてのプログラム]-[Alfatech]-[管理ツール]-[環境管理]を選択します。

   環境管理ダイアログが表示され、移行した環境名称が表示されます。

   環境名称は「DENKI2000→ACAD-DENKI ***」のような表示となります。

   必要に応じて環境名称の変更、その他の作業を行ってください。

5.6.電キャビ 2000 の移行

電キャビ 2000 の図面庫（ボリューム）・フォルダ・ファイルのプロパティの構成はデータベース（デフォルト：dencabi2k.mdb）に登録されています。

「図面庫（ボリューム）・フォルダ・ファイルプロパティ」の構成を、電キャビのデータベース（SQLServer（MSDE））に移行する手順を説明します。

電キャビ 2000 未使用の場合、本作業は必要ありません。前章の確認で移行作業は終了です。

5.6.1.データベースの共有確認

・電キャビで図面庫（ボリューム）以下のフォルダ・ファイル構成を 1 台だけで参照する。

複数のパソコンで共有しない

->マイデータベースを使用

・電キャビで図面庫（ボリューム）以下のフォルダ・ファイル構成を複数のクライアントで参照する

複数のクライアントで電キャビのボリューム以下のフォルダ・ファイル構成を共有し、変更・更新を行います。

->共有データベース（SQLServer（MSDE）、Oracle）を使用

共有データベース（SQLServer（MSDE）、Oracle）をサーバーにインストールし、テーブルの構成と接続設定の登録作業が必要です。

登録作業につきましては、ご使用のデータベース（SQLServer（MSDE）、Oracle）を確認の上、各接続設定マニュアルをご参照ください。

ご注意

DENKI2000 の標準パックをインストールされている場合でも、項目は全て表示されます。その場合、処理外の項目は”正常終了”と表示されます。

5.6.2.電キャビの設定・データ移行の実行

「 2.3.2 電キャビの設定・データの移行」を参考に電キャビの設定・データ移行を実行してください。

環境移行マニュアル(ACAD-DENKI 2019)

2018 年 7 月 第 1 版発行

発行者

図研アルファテック株式会社

http://www.altatech.jp/